

市内2か所で新バイパスが開通

木屋平の国道438号線「森遠・谷口バイパス」が12月4日、穴吹町の国道492号線「穴吹バイパス」が12月18日に完成を記念し、開通式が行われました。

●森遠・谷口バイパス

同バイパスは、国道438号線が道路幅が狭く歩道がないため、住民の交通の便や子どもの登下校時の安全の確保、観光活性化を目指し、昭和60年から歩道付きの道路建設が進められ、このほど木屋平小学校から北へ約600mの区間が完成しました。開通式では木屋平中学生による獅子舞や太鼓が披露され、木屋平小学生による鼓笛隊を先頭に開通パレードが行なわれました。

●穴吹バイパス

同バイパスは、国道492号線沿いの交通渋滞の解消策として、また緊急時の輸送道路として、平成6年に着手され、穴吹庁舎東側の国道492号線の分岐点から土場の立堰までの1.3kmの区間が開通しました。開通式では式典後、穴吹小学校金管バンドがパレードを行い、開通への花を添えました。

※穴吹バイパスと交差する八幡神社前交差点の東西道路に新たに一時停止の規制が新設されました。同交差点は交通量が多く通学路でもあるため、必ず一時停止を行ってください。

▶木屋平中学生による伝統芸能「獅子舞」



▶穴吹小学生による鼓笛隊パレード



宮内小学生が全国女子体育研究大会徳島大会で創作ダンスを披露



11月29日、徳島県郷土文化会館で開かれた全国女子体育研究大会の公開演技の中で、宮内小学校全児童による創作ダンスが行われました。

現在、宮内小学校の全児童は34人。この日のために、蔭山素子教諭指導のもと、穴吹川で遊んだり、観潮船に乗ったりして、動きのイメージをふくらませ、9月から練習を重ねてきました。今回、穴吹川から四国三郎吉野川、鳴門の渦潮へと続く故郷の水の旅を表現した「水のたび34～ふるさとからの発信」と題し、躍動感あふれるダンスを披露。参加者からは感嘆の声や大きな拍手が贈られました。

子どもたちからは「9月から始めた練習は苦しいこともあったけれど、みんなで力を合わせて乗り越えられました。一人一人の心が一つになったから成功できたのだと思います。」
「とても緊張しましたが、本番は練習以上に上手にできました。今までダンスの練習をしてきてよかったです。」

と大きな舞台でやり遂げ、満足そうな笑顔を見せていました。